



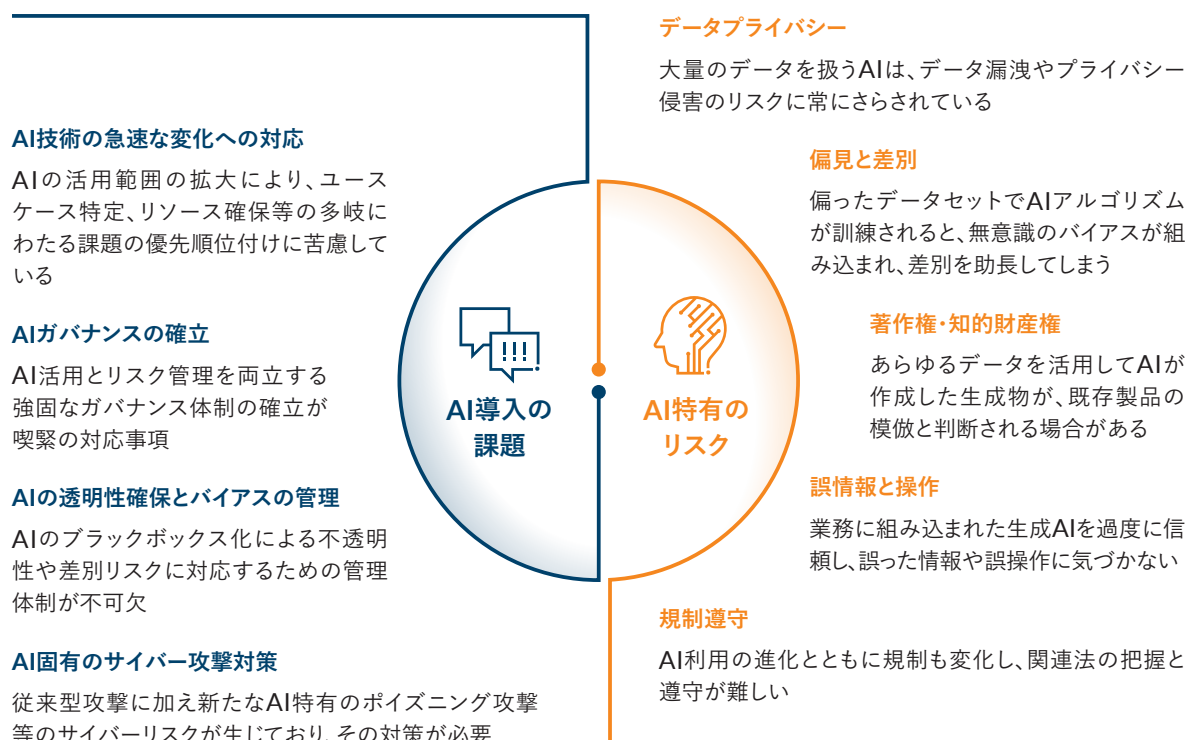
AIガバナンス監査・AIシステム監査支援サービス

DXの加速とテクノロジーの進化が続く現代において、AIはビジネスにおける生産性向上とイノベーションを推進する極めて重要なドライバーとなっています。多くの企業がAIによる業務効率化や改善を検討し始めていますが、その一方で、AIの活用は複雑なリスクを伴います。

AI技術の急速な発展に伴い顕在化するコンプライアンスリスク、倫理リスク、モデルリスク、サイバー攻撃リスクといった多様なAIリスクの管理状況を検証し、お客様のAI活用を戦略的に、かつ責任を持って推進するための監査支援を提供いたします。

なぜAI導入にリスク管理が不可欠なのか？

AIは大量のデータと複雑なアルゴリズムに依存するため、データ品質やバイアス、透明性、法規制遵守といった特有の課題とリスクがあり、これらへの対応を怠ると誤用や社会的信用失墜といったリスクが伴います。

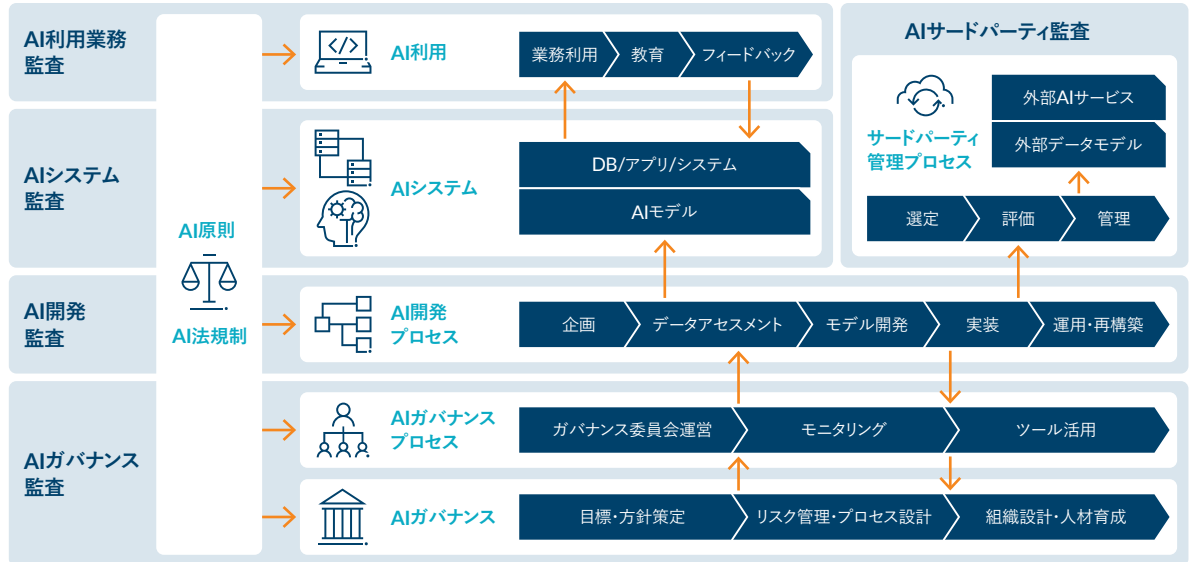


AI監査とは？

AIの活用を戦略的かつ責任ある形で推進するために、AIの潜在的価値を引き出しつつリスクを適切に管理し、持続的な競争優位を確立する必要があります。AI監査は、データ品

質・バイアス・透明性・法規制遵守などAI特有の課題を包括的に評価し、改善策を提示することで、健全なガバナンスの下でのAI活用を支援する取り組みです。

AI監査の対象領域



プロテビティが提供するAIガバナンス監査・AIシステム監査支援サービス

プロテビティのAI監査支援サービスは、AI技術の進展により高まるコンプライアンスリスク、倫理リスク、モデルリスク、サイバー攻撃リスクといった多様なリスクに対して、お客様のAI

導入状況や成熟度に合わせて監査の重点領域を特定し、リスク管理の状況を検証します。

AIガバナンス監査	企業全体のAI活用に関する方針、組織体制、リスク管理枠組みを検証し、AI利用が法的・倫理的要件に準拠し、経営目標と整合していることを監査します。
AI開発プロセス監査	AIシステムの開発、テスト、導入、モニタリングの各フェーズにおけるリスク評価基準の整備を検証し、学習データの妥当性、モデルの精度、バイアス検証、およびリリース前の承認プロセス等が適切かを監査します。
AI利用業務監査	AIが生成した情報について、人による監督・レビュー体制の有効性や、重要な意思決定における人による判断状況を検証し、AIガバナンス方針や責任あるAI原則に則った業務運用となっているかを監査します。
AIサードパーティ監査	外部AIサービスや委託先の選定、評価、管理に関する枠組みが適切に整備されているか検証し、契約管理、知的財産評価等のAI活用におけるサプライヤー・リスクへの対応状況を監査します。
AIシステム監査	AIサービスやシステム自体の信頼性とコンプライアンスを確保するため、データ品質とバイアス、倫理的考慮を検証し、確率的モデルの動作や自己学習システムの管理状況の検証、AI固有の脅威への対応を通じて、企業目標との整合性を監査します。

プロテビティについて

プロテビティは、企業のリーダーが自信をもって未来に立ち向かうために、高い専門性と客観性のある洞察力や、お客様ごとの的確なアプローチを提供し、ゆるぎない最善の連携を約束するグローバルコンサルティングファームです。25か国、90を超える拠点で、プロテビティとそのメンバーファームはクライアントに、ガバナンス、リスク、内部監査、経理財務、テクノロジー、デジタル、オペレーション、人材・組織、データ分析におけるコンサルティングサービスとマネージドソリューションを提供しています。プロテビティは、米国フォーチュン誌の働きがいのある会社ベスト100に10年連続で選出され、Fortune 100の80%以上、Fortune 500の約80%の企業にサービスを提供しています。また、成長著しい中小企業や、上場を目指している企業、政府機関等も支援しています。プロテビティは、Robert Half (NYSE: RHI)の100%子会社です。

プロテビティLLC

protiviti.jp

東京都千代田区大手町 2-6-4 TOKYO TORCH 常盤橋タワー 24F
大阪府大阪市北区梅田 3-2-123 イノゲート大阪 9F

Protiviti, Protivitiロゴは、Protiviti Inc.の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。その他の記載されている会社名・製品名は各社の登録商標です。
PJ2512



protiviti®